

# 遠賀

No.138 2015. 8.10

発行 / 福岡県おんがちょう遠賀町議会

議会だより



すくすくひろば

6月16日

遠賀町中央公民館では、毎月第3火曜日に、生後2カ月から1歳未満までの乳児を対象にした「すくすくひろば」が行われています。

この日もたくさんの参加者が訪れ、身体測定やベビーマッサージだけでなく、お互いの情報交換や友達づくりなど、子どもも大人も楽しい時間を過ごしていました。

6月定例会

〇〇〇 2

7月臨時会・議会ニュース

〇〇〇 4

一般質問

〇〇〇 5

傍聴者から一言・おんがレガッタ

〇〇〇 12

6月定例会は、6月5日から18日までの14日間開催されました。

議案は、条例改正、平成27年度補正予算など9件が上程され、慎重審議を行いました。



# 空き家等対策協議会

## 設置

### 条例改正

附属機関の設置に関する条例の一部改正

(全員一致可決)

新たに「空き家等対策協議会」と「あんしん地域づくり協議会」を設置するもの。

#### 【空き家等対策協議会】

国の「空家等対策の推進に関する特別措置法」が成立したことに伴い、本町の空き家等に対する対策や施策などを調査・審議するために「空き家等対策協議会」を設置するもの。

#### 空き家等の定義

建築物またはこれに付属する工作物に対して、居住その他の使用がなされていない常態であるものおよびその敷地。

※国または地方公共団体が所有し、または管理するものを除く。

協議会は次に掲げる者の中から10人以内で組織され、任期は2年間。

- ① 町議会議員
- ② 学識経験者
- ③ 地域住民団体の代表
- ④ 建設等に関する知識を有する者
- ⑤ その他町長が必要と認める者

また、協議会が必要と認めるときは、専門知識を有する者（不動産業や宅建業など）の意見を聴くことができる。

(注) 空家等対策の推進に関する特別措置法

適正な管理が行われていないために防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている空き家等の活用を推進するために、対策計画の作成、施策の推進を行い、生活環境の保全と、心身または財産の保護を行い、地域振興に寄与する目的で設置されています。

【あんしん地域づくり協議会】

地域包括ケアシステムの構築を推進するため、地域ケアの課題の中で、特に町全体で取り組むべきものについて協議することを目的とする「あんしん地域づくり協議会」を設置するもの。

協議会は区長・民生委員・老人クラブ等の各代表より組織される。

学校給食共同調理場設置条例の一部改正

(全員一致可決)

給食センターは、9月から民間委託するため、条例の一部改正を行うもの。

主な改正は、「調理員」および「自動車運転手」を条例より削除し、また、所長の配置（学校教育課長兼務）をするもの。



# 一般会計補正予算

## 8247万円増額 (万円未満四捨五入)

(全員一致可決) 第2回目の補正予算は、て、屋上の防水工事も行うもの。

8247万円を増額し、予算規模は72億9670万円になりました。

### 【主なもの】

広渡小学校太陽光パネル設置工事

4238万円

校舎屋上に太陽光パネルを設置し、災害時の避難所になっている体育館の非常用電源とし、併せ

園芸農業の生産額の増大と持続的な発展を目的とし、収益が高く活力ある園芸産地を育成するため、農事組合法人(きもり)に対して、緑葉野菜生産の温室1800㎡の施設整備のため交付するもの。

584万円

園芸農業の生産額の増大と持続的な発展を目的とし、収益が高く活力ある園芸産地を育成するため、農事組合法人(きもり)に対して、緑葉野菜生産の温室1800㎡の施設整備のため交付するもの。

地区公民館施設補助金

326万円

松の本公民館の屋根塗装・外壁コーキング・室内のクロス張り替え・照明のLED取り換えを行うもの。

一般コミュニティ助成金

250万円

和太鼓団体「心樹」に対し、和太鼓・和太鼓台の購入費を補助するもの。

水田農業担い手機械導入支援事業補助金

383万円

水田農業の持続的発展と、担い手の経営基盤強化を図るとともに、負担軽減のため認定農業者2人に対して生産機械導入の補助を行うもの。

まちづくり支援事業資料作成業務委託料

40万円

防衛施設に対する住民の理解を深め、防衛施設と周辺地域の調和を図るために、防衛施設を前提

空き家等対策計画策定業務委託料

216万円

空き家などに関する対策を総合的・計画的に実施するため、基本的な指針を示すための計画を業者に委託するもの。

学校給食事業特別会計

(賛成多数可決)

801万円減額

本年9月以降給食センターが民間委託されることに伴い、特別会計の人員費が不要となるため。

### 特別会計補正予算

(万円未満四捨五入)

### 意見書

環太平洋パートナーシップ(TPP)協定に関する意見書  
(全員一致可決・関係機関に送付)

環太平洋パートナーシップ(TPP)協定は、例外無き関税撤廃を目指す、究極の自由貿易協定であり、国家の主権と安全安心な国民生活を揺るがしかねない重大な問題をはらんでいる。

TPP協定および日米二国間交渉が、日豪経済連携協定(日豪EPA)の交渉の二の舞となり、拙速な合意を迫られるのではないかと不安と不満がいまだ絶えない。

改めてTPP協定交渉が国民生活の根本にかかわる重大問題であること踏まえ、次の事項を実現するよう強く求める。

- ①国権の最高意思決定である国会や与党の決議に即した交渉を妥協することなく進めること。
- ②TPP協定交渉に関して国民へ十分な情報開示を行うとともに、利害関係者の意見を交渉過程に確実に反映させること。
- ③農林水産分野の重要五品目や国民皆保険制度などの聖域が確保できない場合や交渉過程において政府方針の実現が困難とみなしたならば交渉脱退に期すること。



TPP協定を気にしながらの農作業



改修される松の本公民館



太陽光パネルが設置される広渡小学校屋上

7月  
臨時議会  
7月15日開催

契約  
(万円未満四捨五入)

遠賀コミュニティセンター改修工事請負契約の締結

(全員一致可決)

遠賀コミュニティセンター改修工事の工事請負契約を締結するもの。

▽入札の方法

条件付一般競争入札

▽契約金額

3億1693万円

▽契約の相手方

溝江建設株式会社

▽工期

平成28年3月13日まで



改修工事を行う遠賀コミュニティセンター

議会提出の議案

人口ビジョン及び総合戦略審査特別委員会の設置  
(全員一致可決)

人口ビジョンと地方版総合戦略の策定に伴う審査を行うため、全議員で構成する「人口ビジョン及び総合戦略審査特別委員会」を設置するもの。

賛否が分かれた議案

(○：賛成 ▲：反対 欠：欠席)

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
会議名	議員名	浜岡	仲摩	尾下	二村	萩尾	田代	濱田	中野	加藤	仲野	織田	萩本	古野
6月定例会	平成27年度遠賀町学校給食事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○

※ 全員一致の議案は除いています。



新任議員研修会

5月15日、役場会議室にて、4人の新任議員を対象に「新任議員研修」が開催されました。

まずは萩本悦子副議長から、本町の議会基本条例について「議会とは何か。議員とはどうあるべきか」という根本的な部分から説明がありました。議会の基本理念「議員の活動は町民の負託に全力で応じ、本町の持続的で豊かなまちづくりの実現に寄与する」という目的を、改めて感じさせられる内容でした。そのほか議会運営に関する条例を一つ一つ確認しました。引き続き行政経営課財政係長から、地方自治法



真剣に研修を受ける新任議員

の「最小の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならぬ」という観点から、財政研修が始まりました。予算編成の原則、財務を確認する上での基礎知識から予算書の見方、平成27年度予算を確認し、実際に予算を決定するまでの予算編成という内容でした。最後に平成25年度決算書と関係書の概要説明を受け、終了しました。これからは実践になります。研修で学んだことをしっかりと復習し、「豊かな遠賀町」の実現に向けて、今まで以上に志を高めていきたいと思えます。

委員会レポート  
(第一常任委員会)

学校訪問報告

7月1日および7日に、町内の小中学校と給食センター等を訪問しました。各学校では、学校長の学校経営方針に沿って、それぞれが特色のある重点目標を掲げ実施に取り組んでいました。



学校経営の説明を聞く

各小学校では、「学力の向上」「体力の向上」「豊かな心を育てる」を目標としていました。「学力の向上」では、中学校との連携、外部講師による授業。「体力の向上」では、子どもたちがそれぞれに目標を掲げ努力する活動。「豊かな心を育てる」では、社会人となった時に人間関係が保てるような教育の実践。以上のような取り組みを行っているとの報告がありました。各中学校では、生徒に

また、各小中学校で共通していることは、スマートフォンやゲーム等の取り扱いには、地域、保護者、学校が緊密に連携し、取り組んでいることでした。

給食センターでは、食物アレルギー対策に細心の注意を払っており、除去食対応の説明も聞くことができました。



一般質問とは…

年4回行われる定例会で、議員が町に対して現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動の一つです。



はもと 萩本  
えつこ 悦子



## 子育てコンシェルジュ的な職員の配置が必要だ



### 健康こども課の中でワンストップの子育て支援体制を行う



子育て支援では、妊娠・出産・子育て期での切れ目のない支援が必要

#### 子育て相談体制のワンストップ化

**議員** 「子ども・子育て支援事業計画」では、利用者支援事業が大きな目玉となっている。

そこで、すべての子育て相談をワンストップで行えるコンシェルジュ的な職員を配置する考えはないか。

**町長** 4月の機構改革で新設された健康こども課の中で、相談体制を充実させていきたい。

#### 待機児童対策

**議員** 本町でもここ数年、待機児童が発生しているが、どのような対策を行っているのか。

**町長** 各保育所では、弾力的運用により、定員を超えた受け入れを行っている。

また、平成26年度には遠賀川保育園の増築を行い、定員増を図ったところだ。

ろだ。

待機児童の解消のみならず、潜在的保育ニーズに対応するためにも、さらにワークライフバランスの観点からも保育事業の充実が、今後の重要課題と考えている。

#### 学童保育クラブの開設時間延長

**議員** 現在、学童保育クラブの開設時間は、午後6時までだが、ワークライフバランスの観点から、午後7時にする考えはないか。

**町長** 学童保育クラブの開設時間延長は、たくさんの方のニーズや意見がある。ただ、学校施設を利用していている第2学童クラブは、学校の管理運営上の問題や指導員の確保についての協議が必要となってくる。

私としては、必要な条件を整えた中で、延長すべきだと考えている。

#### ファミリーサポートセンターは

**議員** 本町では、三世帯家族の比率が高く、子どもの一時的預かりや送り迎えは、祖父母にお願いできるといって子育て世代が多い。しかし現在は、家族の形態も変わり、核家族が進んできている。

また今後、本町の人口を増やすためには、町外から子育て世代を取り込む必要もある。

財政的な問題からファミリーサポートセンターの実現はすぐには無理としても、5年後、10年後を見据えて調査・研究はすべきではないか。

**町長** 子ども・子育て会議の中でもしっかりと議論されたが、現在はニーズがないとのことだ。

しかし、必要になった時は「子ども・子育て支援事業計画」の中に追記していくということになっている。

一般質問の記事は、質問者自身が作成した原文を掲載しています。



## J A跡地の利用は凍結し、駅前再開発をすべきだ



### 駅舎や駅前周辺と J A跡地の3本柱で開発構想を検討している



おだ たかのり  
織田 隆徳



建て替えが期待される  
遠賀川駅舎

#### 駅前地域の再開発をすべきだ

**議員** 防衛省のまちづくり支援事業が創設され、遠賀川駅舎の建て替えの可能性がでてきた。J A跡地の利用計画は一時凍結し、駅舎の建て替えに合わせて、駅前の全体的な再開発を検討すべきだ。

**町長** J A側からは、町の方から跡地利用構想を出してくれと投げ掛けられている。遠賀川駅周辺、まちづくり構想として、駅舎や駅前北側周辺、J A跡地の3本柱で構想を策定できないか検討している。

#### 遠賀川駅南の開発スケジュールは

**議員** 駅南は道路や自由通路が完成し、インフラ整備が進んでいる。開発までのスケジュールはどのくらい進んでいるのか。

**町長** 昨年11月に開発を行う「土地区画整理組合

一般質問の記事は、質問者自身が作成した原文を掲載しています。

の設立を目指した準備組合が設置された。今年度、正式な組合設立に向けた基礎調査を実施し、平成28年度関係機関と協議を行い、平成29年度に事業計画案を作成する。平成30年度の組合設立を目指している。

#### 遠賀川に橋を架設すべきだ

**議員** 駅南から県道直方・芦屋線に抜けて国道3号線へ至るルートは、特に渋滞することが予測される。遠賀川に新たに橋を架設するよう国や県に要請すべきだ。

**町長** 町橋の架設は、構想として持っている。しかし、国の予算交付額が要望の50%弱しかなく厳しい。今は、主要な幹線道路を、まず整備していきたい。

**議員** 要請していかなければ実現しない。要請は続けていくように提言する。

#### コミュニティ・スクールの導入は

**議員** 政府の教育再生実行会議が、コミュニティ・スクールを全公立学校に導入を目指すよう提言した。本町は他町に先駆けて導入すべき考えはないか。

**教育長** 文部科学省が導入の通達を再三出しているが広がらない。

その原因は、①学校運営基本方針の承認を得る②教職員人事について意見が言える③先生方の負担が増えるなどが理由だ。校長会などの意見を聞きながら前向きに検討する。

※この他にも、「交通安全対策」について質問しました。

※ 一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ (<http://www.town.onga.lg.jp/>) で公開します。



なかの 仲野  
しんざぶろう 新三郎



## 子育て世代包括支援センターを設置する考えはないか



現行の体制で行うが、国や県の情報を収集しながら議論していく



安心して出産や子育てを行えるように、子育て世代包括支援センターの設置を

### 子育て世代包括支援センター設置は

**議員** 安心して出産や子育てを行えるように、専属の保健師やソーシャルワーカーを配置して、切れ目のないきめ細やかな支援をしていくための子育て世代包括支援センターを設置する考えはないか。

### 待機児童対策はどのように行うか

**議員** 毎年、年度途中から入園者の数が増加する

傾向にあるが受け入れ可能か。

**町長** これまでの状況から判断して入園者は増加すると推測しているが、入所の範囲に余裕があるので今年度は待機児童は発生しないと考える。  
**議員** 町内でも希望の保育園に通えない等の潜在的待機児童はいると考えますが町長の認識は。

**町長** 本町における出産・子育ての相談支援業務は助産師やソーシャルワーカーは配置していない。職員や保健師が保健所や医療機関等の関係機関と密に連携を図りながら行っている。当分の間は現行の体制で行っていくが、県内の動向も含め、国や県の情報等を収集しながらいきいきおんが推進委員会の中で議論していく。

今後、ニーズに合わせ小規模保育・家庭的保育ができるよう対策を練っていく。

### 就学前教育で英語教育の推進は

**議員** 小学校では平成32年の英語の教科化に向けて、外国語活動が高学年で必修化されている。今後グローバル社会で活躍できる子どもの育成のためにも、本町の教育方針として就学前教育で英語教育を推進する考えはないか。

**町長** 現在、小学校1年生から英語教育を行っている公立学校が増えている。特色ある就学前の幼児教育というのは理解しているが、就学前よりは小学校1年生からの英語教育をどうしていくのか議論していかなくてはならないと考える。

「遠賀町商店街振興計画」について質問しました。

※この他にも、

一般質問の記事は、質問者自身が作成した原文を掲載しています。





## 本町のオニバスを観光資源として公開してはどうか



### 観光資源ではなく、絶滅危惧種の希少性を重視し育成に力を注ぐ



はま おか みね さと  
**浜岡 峯達**



蟹喰池がにはみに

人道設置はできないか

### オニバスを観光資源の考えはないか

**議員** 開花したオニバスを見に行けるように検討できないか。

**町長** 現時点では、観光資源としてではなく、絶滅危惧種である天然記念物「オニバス」の希少性を重視し、しっかりと保護、育成に力を注ぐ段階であると考えている。

**議員** 実際に見に行く場合は、簡易な人道を設置する方法もあるかと思われるが、町単費ではできないので、上級機関に補助を受けるような検討はできないか。

**町長** 民有地であるため、駐車場の整備をはじめとして、住民との合意形成など大きな問題がある。

何度も申し上げるが、今の段階では、保護、育成に力を注がせていただきたい。

### 民話を観光資源と生かす考えは

**議員** 各地区に点在している民話を今後どのような形で継承していくのか。

**議員** 豊前坊は民有地ということだが、一般公開の手続きはとれないか。

**生涯学習課長** 昔話を後世に引き継ぐことも重要なので、ホームページ等に公開したい。

**議員** 島津・丸山歴史自然公園の史跡を案内するボランティアガイドは何人いるのか。

**教育長** 低学年には読み聞かせ等にぜひ、朝の読書活動の時間を使って広げていく方法も考えられるのではないかと考える。

**議員** 町外の方が訪れた時、本町は住みやすい町ですよといえる体制づくりが必要ではないか。

**町長** 第5次総合計画の中で歴史や文化の継承をしていくとうたっているのですが、もしなされていまいようであれば、今後、しっかりとやっていく。

**教育長** ボランティアガイドの養成とかもつと町の文化遺産の良さを広げるという指摘であろうと思うので、今後また検討をしたいと思います。

### 文化遺産を町内外に広報をしては

**議員** 島津・丸山歴史自然公園は自由に立ち入ることができると、豊前坊はできないのか。

**教育長** 豊前坊は民有地なので許可なく入ることは

一般質問の記事は、質問者自身が作成した原文を掲載しています。





かとう よういちろう  
加藤 陽一郎



## 国が考えている画一的なメニューで対応できるのか



国の基本に沿って、遠賀町らしさを出していけばいいと思っている



地方創生地域住民生活等  
緊急支援プレミアム商品券

### 地方創生総合戦略 の策定プロセスは

**議員** 国は、地方総合戦略の早期かつ有効な作成、実施には手厚く支援すると言っている。

交付金の獲得合戦や住民参加の議論が後にならないか心配している。

また、国が考えている画一的なメニューで対応できるのか。そこで、地方創生総合戦略の策定プロセスと行程を尋ねる。

**町長** 国の方針が総合戦略を出せということで打ち出されており、町の第5次総合計画が前期を過ぎ、後期を今から作らないといけないので、これが千載一遇のチャンスと捉えて、地方創生に伴う、上乘せ部分も含めて利用したいと考えている。  
出生率の問題から言えば、人口は減っていくことは間違いない事実であり、国の基本に沿って、遠賀町らしさを出してい

けばいいと思っている。住民参加の議論は、いきいきおんが推進委員会を住民、有識者、若い人も含めてやる。

また、住民のアンケートも取り、パブリックコメントももらい、住民の皆さんの意見をしっかりと取っていききたい。

**行政経営課長** 10月31日までに作れば、追加の交付金の可能性があるので、それまでに、骨子を暫定版としてまとめる。

**議員** 短い行程の中で、「安定した雇用を創出する」「地方への新しいひとの流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」、この4項目全てを総合戦略の計画書に入れて提出するのか。

に基づいた事業の参考例が示されており、これに町独自の戦略を加味して策定する。

**副町長** 町は推進本部をつくり、三つのワーキング部会「人口ビジョン」「新しい人の流れ」「結婚・出産・子育て」で先行して庁内協議を進めて、いきいきおんが推進委員会に諮って、暫定版を作る。

その後、パブリックコメントと、12月議会の提案になる。9月の議会には素案を示す。

一気に全部入れるかどうかは、来年2月の確定版でどのようになるかが出てくるため、現状では暫定版を作っていくと、ご理解いただきたい。

※この他にも、「太陽光発電設備等の設置に係る景観形成」について質問しました。

**行政経営課長** 内閣官房のまち・ひと・しごと創生本部事務局から、この項目

一般質問の記事は、質問者自身が作成した原文を掲載しています。



## 投票権の大切さを義務教育のころから積み重ねるべき



選挙や政治の関心を高める取り組みは、欠かせないと思っている



はぎ お 萩尾 おさ み 修身



中学校における模擬選挙の風景

### 18歳選挙権について対策は

**議員** 義務教育の間に模擬投票や議会訪問など実践を積み重ねて、政治を教える教育を行うべきではないか。

**教育長** 小学校では選挙の仕組みについて調べるときに、模擬投票について学習している。

中学校においても選挙公報を参考に、模擬政党を作ったり、公約を作成したりして投票を実施している。

**議員** 新聞社などが高校生を対象に行ったアンケートの傾向をみてみると、投票に行くか答えたと答えないと答えた生徒には明確な考え方の違いが読み取れる。自分の考えを表明したい、政治に参加したいと積極的な考えを持った子は、家庭や学校でしっかり学んだ子だ。18歳に選挙権を持つまでに実践を積み重ねた

一般質問の記事は、質問者自身が作成した原文を掲載しています。経験は、すごく大きいと思うが、どう考えるか。  
**教育長** 政治の働きとか、民主主義などを自ら考えようとする態度を育てるなど、この目標に向かつて方法論はいくらでもある。政治参加の方法として選挙について考えさせるといふことを、義務教育では重点においている。  
**議員** 義務教育の中立性を保つため、指導する先生の意志統一を図るために研修をするべきと考えるが、実態はどうか。

### 期日前投票所の増設を考えるべきだ

**議員** 今回の町議選も投票率が54・93%と前回よりも4ポイントも下がっている。少しでも投票率を上げる手段として、期日前投票所を駅前サービスセンターやゆめタウンに置くべきではないか。

**教育長** 政治的中立を法的手段を基にやっている。  
**議員** 子どもが学校で政治を学んだことがきっかけで、親子で一緒に考えて7年ぶりに投票に行つたという実例がある。子どもが授業の重要性を考えることができるよう家庭や地域にも協力してもらう必要がある。

**教育長** 保護者や町民の方への啓発活動が重要だ。地域の方に、本町が実施している出前講座などを活用していただき、行政全体で支援していくことが重要だ。  
**町長** 投票率の向上は本町においても課題として捉えている。投票日当日の投票所、または期日前投票所に、いかに有権者に足を運んでいただくか試行錯誤している。その中で、駅前サービスセンターなどに期日前投票所を開設するという方法も一つの案として検討は、当然必要だ。  
投票率の向上に関しては、継続的に調査、研究を進めている。

※ 一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ (<http://www.town.onaga.lg.jp/>) で公開します。





たしろ じゅんじ  
田代 順二



## 小中学校のエアコンはいつ 設置し稼働するのか



「事業実施計画」に沿って進めて  
いく予定だ



平成29年度エアコン設置予定  
の広渡小学校

広渡小学校が平成  
29年度施工

**議員** いつから稼働する  
のか。

**町長** 「事業実施計画」  
に掲載している。計画に  
沿って進めていく予定だ。

**教育長** 広渡小学校が平成  
28年度実施設計、平成29  
年度施工。島門小学校お  
よび遠賀中学校は平成29  
年度実施設計、平成30年  
度施工。いずれも防衛省  
の補助事業を活用し整備  
する計画だ。

また、浅木小学校およ  
び遠賀南中学校は、平成  
30年度実施設計、平成31  
年度施工。この2校は文  
部科学省の補助事業によ  
り整備する計画だ。

**議員** 平成29年度施工な  
ら、エアコンが使えるの  
は何年の何月からか。  
**学校教育課長** 工事は夏休み  
期間中に施工したい。そ  
の進捗状況によるが、2  
学期9月から使える可能  
性はある。

中学3年まで通院  
医療費無料化を

**議員** 中学3年生以上の  
医療費無料化は全国的な  
流れであるし、町民の願  
いでもある。この町民の  
声に添えていただきたい  
と思うがいかがか。

**町長** 医療費助成等、社  
会保障制度は市町村によ  
って格差があることは好  
ましくない。全ての人が  
社会保障サービスを受け  
ることができるとは思っ  
ていない。

乳幼児・子ども医療助  
成制度においても、国・  
県が主導していくべきだ  
と考えている。  
一方では、人口増や定  
住促進につながる重要な  
施策の一つであり、本町  
の定住促進計画を策定す  
る上で議論になると思う。  
今回出ている地方創生版  
の戦略の中に、「若い世代  
の結婚・出産・子育ての  
希望をかなえる」とある  
ように、子育ての希望等

に位置付けての議論にも  
なる。  
いずれにしても、県の  
助成対象以上の拡大部分  
は全て町負担になるので  
財政状況等考慮しながら  
また、県の助成拡大の状  
況等、近隣市町村の動向  
を注視しながら慎重に検  
討していく必要があると  
考えている。

**議員** 福岡県知事がこの  
制度を拡充することを2  
月の県議会で表明してい  
る。県と同時に拡充でき  
ないか。

**町長** 県が検討している  
が、現時点では開始年度  
や具体的内容は示されて  
いない。同一医療圏では  
格差があるべきではない。  
財政的な問題も山積して  
いる。まず、県に出して  
いただいて同一步調がと  
れるか検討していきたい。

※この他にも、

「予防事業の拡充」

について質問しました。

一般質問の記事は、質問者自身が作成した原文を掲載しています。

# 傍聴者から一言

6月18日、遠賀中学校から職場体験に訪れていた4人の生徒が、議会の傍聴に来られました。

傍聴された皆さんは、真剣なまなざしで聞いており、私たちも身が引き締まる思いでした。

最終日は付託委員会で決められた内容の報告や採決であるため、内容が分かりにくいのではないかと心配しましたが、傍聴後の感想を読むと、議会で真剣に取り組んでいる雰囲気が伝わっているように安心しました。

傍聴後にいただいた感想は次のとおりです。

議会を初めて見てすごくびっくりしました。

町のために取り組んでいるから遠賀町は成り立っているのだと思い、すごいなあと思いました。

山崎 瑞季さん

ちょっと難しかったけどいい経験になりました。ありがとうございます。

小野 美咲さん

議会を傍聴して、内容は詳しく理解できなかったけれど、議会がどういうものかがよく分かりました。

川副 春翔さん

役場でもこういう議会があるとは知らず、とても驚きました。

野本 陽太さん



真剣に議会を見つめる生徒たち

# おんがレガッタに挑戦

5月30日に開催された「おんがレガッタ」オーブンの部。本町議会は2チームを編成し、大会に挑みました。

今年で17回目の開催となった「おんがレガッタ」は、県内外からの多数の参加者や見学者が来場する、本町の一大イベントにまで成長しました。

議会チームも本町の他、郡内3町の各議会も参加され、ライバル心を燃やし切磋琢磨しながら真剣に取り組まれました。

本年度は町議会議員選

挙があつたため、例年に比べて練習時間が確保できませんでしたが、練習の合間にベテランが未経験者にアドバイスするなど真剣な中にもほほ笑ましい光景も見られました。当日は心配された天候も何とか回復し、無事大会を迎えることができ、本町議会2チームは予選第1試合に同時に出場しました。試合では、本町議会Aチームが他の町議会チームをおさえ、1位通過で準決勝に進むことができました。



懸命にオールを漕ぐ選手たち

準決勝では惜敗し、残念ながら決勝に進むことはできませんでしたが、他チームに声援を送ったりテント内で他チームの選手と交流したり、にぎやかな一日となりました。来年度は決勝戦までコマを進めるように、さらに頑張りたいと思います。

お気軽に傍聴にお越しください。

9月です

次回の定例会は

詳しい日程は、8月下旬に遠賀町ホームページ (<http://www.town.onaga.lg.jp/>) でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。

遠賀町役場・遠賀町中央公民館・ふれあいの里センター・駅前サービスセンター

※遠賀町ホームページからも、視聴することができます。

## あとかき

選挙権年齢を20歳から18歳以上に引き下げられ、公職選挙法が改正される。来年度の夏の参議選から適用されることとなった。今、日本は世界に類例がないスピードで少子高齢化が進み、中高年者の人口比率が大きく、投票率も高くなっている。

シニア世代の影響が強まって政治が決まるようになると、結果的に将来、不利益を被るのは今の若者たちであり、より多くの若者の声を政治に反映させていくことが大事である。

無論、年齢を引き下げるだけで若者の政治参加が進むわけではないが、地域住民との教育や家庭教育が必要になってくる。とりわけ重要なのは、学校現場における主権者教育の充実だろうと思う。

中野 嘉徳

### 遠賀議会だより

発行責任者

議長 古野 修

議会広報 常任委員会

委員長 中野 嘉徳

副委員長 萩本 悦子

委員 浜岡 峯達

仲摩 靖浩

尾下 康文

濱田 竜一